

和みの散歩道の会 活動視察

- 日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日）10：00～14：30
- 場 所：池内猪高線高架下空間 和みの散歩道

【和みの散歩道の会について】

覚王山の北西、鉄砲坂から水道みち緑道にかけてできた高架下空間は、鍋屋上野浄水場の赤レンガを再利用して市民と行政の協働で整備され、現在ではイベントなどが開催される魅力的な空間となっています。それが「和みの散歩道」です。

この魅力的な空間を維持しながら、場所や取り組みなどをより多くの人に知ってもらい、より一層親しまれる空間としてさらに広域的に発展するように、市民の交流とまちづくり活動を行っています。

【活動の様子】

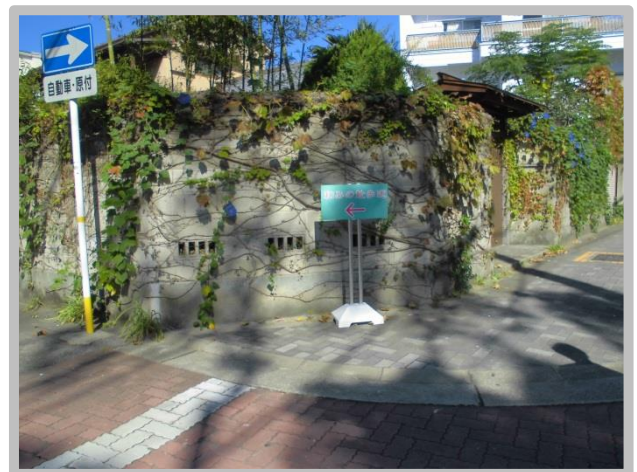
10月25日（日）秋晴れの中、「ザ・和みの散歩道祭」が開催されました。

覚王山日泰寺の参道を歩いていくと、山門の入口でのぼり旗が目にとまりました。その後も案内看板やのぼり旗の誘導で「和みの散歩道」に到着することができました。高架下の整備されたゆるやかなカーブに沿って、名古屋市立大学芸術工学部の学生による絵画や、「和みの散歩道の会」の会員による陶芸、書道などの展示、親子で参加するワークショップ等が行われていました。

赤レンガで整備された高架下の空間や広場周辺は、花壇の手入れがよく、ゴミも落ちていない美しい景観で、地域の環境を守り、市民の交流によるまちづくり活動を推進しようとする会員や地域の住民の思いが伝わってきました。



なごみの散歩道を案内するのぼり旗



なごみの散歩道を案内する看板



高架下の空間を利用したアート展示



親子で参加するワークショップ



「和み小広場」で開催されたコンサート

午前には「和み小広場」でジャズオーケストラや名古屋大学附属中・高等学校ブラスバンド部そして、愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部の演奏があり、こちらも地域の住民や出演者の家族、友人などでにぎわっていて、「和みの散歩道」が市民に親しまれ、交流の輪が広がっているのを感じました。

午後からは、親しみが感じられる曲やウキウキ、ノリノリの曲など老若男女で楽しめるフルートとピアノ演奏があり、終盤にはクレイ・ジェンベ（陶器の太鼓）とのコラボもありました。

イベントを開催する時の案内看板やのぼり旗は、多くの人に来場してもらうためには効果的であり、欠かせないものなので、今後も上手く活用されることを望みます。

イベントに参加して、歴史や環境を大切にしたいという住民の皆さんの思いが、手入れが行き届いた散歩道や花壇の美しさにも表れているのを感じました。

これからも、地域の住民に親しまれ心を豊かにする空間の維持、魅力向上につながるまちづくり活動を推進しながら、日泰寺からの参拝客等、市民の交流がさらに広域的に発展していくように期待します。

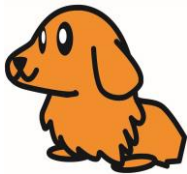


～PECoの感想～

この日は、近辺で運動会など様々なイベントが開催されていたようですが、「和みの散歩道」には多くの方が訪れ大人も子供もなごやかに楽しんでいました。

無機質な高架下の場所を和むことができる魅力的な空間へと変化させているのは、日々の活動があつてのことでしょう。

より多くの人に知ってもらい、このような取組みが継続されていくことを望んでいます。



～こいぬさんの感想～

日泰寺の山門からの案内看板やのぼり旗のおかげで迷うことなく「和みの散歩道」に着きました。覚王山日泰寺からも意外と近く、参拝客にもぜひ足を運んでもらいたいです。

午前中のコンサートは、観客も手拍子をしてとても盛りあがっていました。

音楽とアートが楽しめる散歩道としてさらに発展するよう期待しています。